



~ 地域とともに さらに伸びゆく 鶴田小 ~

つるだ

さつま町立鶴田小学校
学校便り 第9号
R8.1.20発行

子どもたちは未来の担い手

校長 田畠 悅郎

今月4日、薩摩農村環境改善センターで行われた『さつま町二十歳のつどい』に、来賓という立場で参加しました。新成人を迎える本市の若者が実行委員会を組織し、行政と連携して実施された『はたちの集い』。手作り感があるとともに、これからさつま町を背負って立つ若者たちの意気込みを感じることができ、参加できて良かったと思いました。旧鶴田小・流水小の卒業生も多く参加していました。



さて、話は変わりますが、消費税の引き上げからなのか、最近はキャッシュレス化・電子マネー化が一気に進んできています。街中で見る景色は、私自身が成人式を迎えた頃と比べると、大きく変わりました。スマホで駅の改札やバスの乗降をするサラリーマン。キャッシュレス決済アプリでコンビニや自動販売機の支払いをする学生。我が子の話では、結婚式のご祝儀にまで電子マネー化が来ていると聞きます。しかし、これらは多くの科学技術進歩の、ほんの一部に過ぎません。

スマートフォンが世に現れてもう20年近くですが、まるでパソコンを手にしているような生活スタイルです。今の子どもたちが社会で活躍する10年後、20年後は、どのような社会になっているのでしょうか。明らかに言えることは、人間と同じような認知能力を備え、瞬時のデータ管理が行えるAIとの共生社会です。想像の域ですが、働き方も大きく変わっていくでしょう。農業、工業など様々な産業において、ICTを扱いながら作業していくことは必須になるでしょうし、すべての仕事においてグループワーク化が進み、プロジェクトチームでの課題解決が中心で、遠方のメンバーはミーティングにオンラインで参加。ひょっとしたらそのメンバーに、AI搭載のロボットもいるかもしれません。



そのような時代に生きる子どもたちに必要な資質・能力は何でしょう。それは、多様性を受け入れられる寛容さと、正解のない解に向かう学びの姿勢だと、私は考えています。そのためにも、本校では様々な『本物』に触れさせる機会をつくっていきます。それと同時に、日々の教育活動の中で、一人1台タブレットPCを中心、ICT機器の利活用に努めています。そして、失敗を恐れない果敢なチャレンジを、教職員が支援していきます。すべては、次世代を担う子どもたちのためです。子どもたちが科学技術の消費者になるのではなく、共生もしくは価値の創造者になって欲しいと願っています。



12月のいじめアンケート

12月は、いじめを1件認知しました。指導を行った上で、現在、経過を見守っています。

発行元 さつま町立鶴田小学校運営協議会

卒業証書紙漉き



6年生が鶴田和紙工房で卒業証書制作紙漉きを行いました。野元政志さんに親切、丁寧に教えていただきました。子供達は伝統工芸に興味津々で楽しく活動していました。ありがとうございました。

お茶とのふれあい教室



古城製茶の方お二人を講師に招き、5年生がお茶の作り方を教わったり、実際に自分たちが作ったお茶を飲んだりしました。みんなお菓子も一緒にとてもおいしくいただきました。ありがとうございました。

消防署見学



3年生が消防署を見学に行きました。防災についての話を聞いたり、いろんな体験をしたりしました。ありがとうございました。

赤い羽根募金



計画委員会で募金活動をしました。社会福祉協議会の方に来ていただいて、たくさん集まっていたペットボトルのキャラップもお渡しました。

門松づくり



6年生の保護者の方々と6年生の児童で門松作りをしました。とても立派な門松ができました。ありがとうございました。

ニットクより寄贈品



株式会社日特スパークテックWKS様から児童生徒、職員に「フードポット」の寄贈がありました。ありがとうございました。

2月の主な行事予定

- 4日(水) : 探究学習(3~6年)
- 10日(火) : 探究学習 (3~6年)
- 13日(金) : 町英語スキットコンテスト
(鶴田中央公民館)
- 14日(土) : 土曜授業 CSの日
- 20日(金) : 児童総会

★ 2月のCSの日について

2月のCSの日[14日(土)]は、授業参観(1・2年生:生活科、3~6年生:探究学習発表会)です。時間は9:25~11:10です。ぜひ、ご参観ください！
よろしくお願ひいたします。